

教育におけるICT環境の 整備と活用について

令和5年8月9日

交野市議会 総務文教常任委員会
重点テーマ所管事務調査報告

調査の概要

期 間：令和4年10月～令和5年7月

テーマ選定の背景：

ICT活用に可能性を感じる。どんどん進めるべき。

⇔ 一方で、負の側面も気になる。

調査メンバー：

役 職	氏 名
委員長	久保田 哲
副委員長	伊崎 太陽
委 員	臼口 誠二
	北尾 学
	皿海 心み
	中谷 政人
	松村 紘子

交野市の現状

教育大綱 基本理念

「生きる力を養い、多様性に富んだ人材の育成」

これまでの教育実践の蓄積 × ICT

= [学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善



交野市の現状

G I G Aスクール構想

児童・生徒に1人1台のタブレット + 校内通信ネットワーク

- ・ i P a d : 約6, 600台、購入に約3. 5億円

課題

バッテリーの耐用年数を考慮し、
L T Eの契約更新となる令和7年8月に一斉更新を予定
⇒ 国庫補助の有無は未定
⇒ 早期の端末確保（契約締結）が必要

- ・ L T E : 7GB/台、年9, 800万円
校内の無線L A Nは未整備

課題

L T E回線が不安定な学校がある
⇒ 優先的に無線L A N整備を検討

交野市の現状

- ・ I C T 支援員：2名／13校（週1回3時間／校）

課題

継続的な事業実施

⇒ 予算の継続的な確保が必要

- ・ 教室の I C T 環境：大型 T V モニター、画面転送装置など

課題

既存機器の劣化

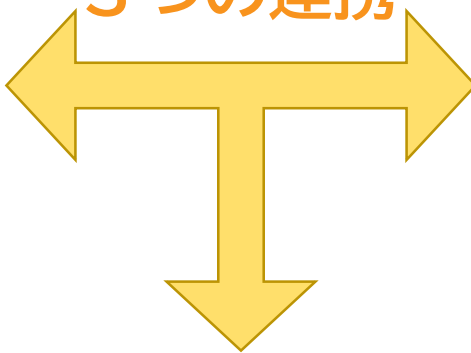
⇒ 更新に約6,000万円が必要

交野市の現状

I C T利活用 検討委員会

- ・ G I G Aスクール構想について、教育委員会が各小・中学校の教職員と共に活用事例を検討している

3つの連携



学力向上 担当者会

- ・ 教育委員会と各校1名以上の学力向上担当者による会

ボトムアップ型 教職員研修

- ・ 交野市独自の取り組みとして、教育委員会とスマートスクールアドバイザーで立ち上げた
- ・ I C Tに長けた教職員の有志がコアメンバーとして運営を担い、教職員同士の研修や悩み相談会をしている



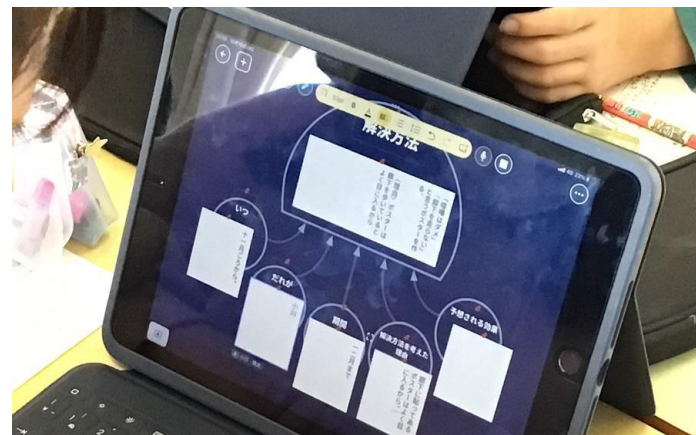
交野市の現状

- ・ 令和4年度 全国・学力学習状況調査

⇒ 「**自分の考えをまとめ、発表・表現する場面**」において
小・中学校ともに全国平均を上回る頻度でICTを
活用できている

課題

教職員間で活用の程度に
ばらつきがある



シンキングツールを活用した授業の様子

交野市の現状（市内小中学校の視察）

令和5年1月19日

- ・ **藤が尾小学校**：全学年の授業を視察して回った
⇒ どのクラスでもICTを活用していることがわかった
- ・ **第四中学校**：1年生の技術の授業を視察
⇒ 班ごとにタブレットを使って意見を整理するなど、実際の活用の様子をじっくり見ることができた



先進市視察（熊本市）

令和5年2月1日 熊本市教育センター

- かつてICT普及率が政令市で下から2番目
↔ 震災での休校を経験し、一気にICT化に注力
- 震災からの復興に向け未来を考えたとき、
「自ら考え主体的に行動できる力」が必要と感じた



先進市視察（熊本市）

- セルラーモデルでいつでも、どこでも活用可能

- ⇒ 校内に限らず、校外や家庭学習でも活用
- ⇒ コロナ禍のオンライン授業にも対応できた
- ⇒ オンライン授業なら不登校の児童・生徒も参加しやすい

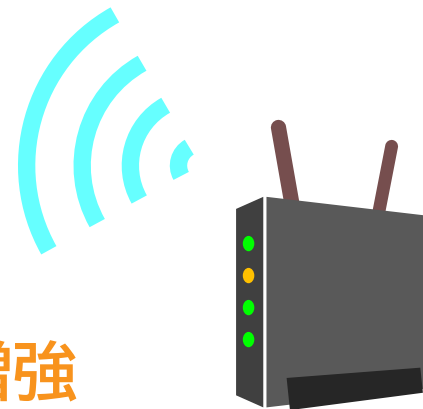


⇔ 一方で「学校で授業をする意味」も考えるように

- 得意な人に負担が偏らぬよう、チームで推進

- ⇒ デジタル教材の作成、学校間での情報共有、研修体制など

先進市視察（福岡市）



令和5年2月2日 **福岡市立田隈小学校**

- 学校規模に合わせて**無線LANを整備・増強**
 - ⇒ ネット環境のない家庭には、モバイルルーターを貸し出し
- **オンライン授業**に非常に力を入れている
 - ⇒ 令和2年6月から感染症対策として、7月から不登校の児童・生徒も対象に実施
 - ⇒ 登校はできるが教室に入れない児童・生徒はステップルーム（適応指導教室）でのオンライン出席も可能
 - ⇒ 完全オンラインにも対応できる授業の組み立て

先進市視察（福岡市）

- 課題のある学校こそ、ICTの効果がある
⇒ 集中できるものができて、トラブルが減った
- 意見交換やまとめ、表現の力がアップ
⇒ 教職員を対象にアンケートを実施して検証
- **専門部署（教育ICT推進課）を設置**して対応



視察の振り返り

- ・ 交野市でも規模は違うができている部分は多い
 - ・ 教育委員会によるデジタル教材（動画）の作成
 - ・ アプリ（ロイロノート）による教材の共有
 - ・ コアメンバーミーティング等、情報共有の場の設置
 - ⇒ ICT利活用検討委員会・学力向上担当者会とは別に有志により開催
 - ・ ICT支援員の配置
 - ⇒ 国の目標には満たないものの、割合は熊本市と同等
 - ・ 不登校対策としてのオンライン授業の実施

視察の振り返り

課題

交野市では…

- ・ 機器の不足のため完全オンライン授業は困難
- ・ 担当職員の不足が深刻
 - ⇒ 特に進学・進級に伴うタブレット端末の初期化・設定変更作業の負担が大きい

全国的な課題として…

- ・ タブレット端末の一斉更新の予算等が不安

まとめ（市への提言）

<早急な対応を求めるもの>

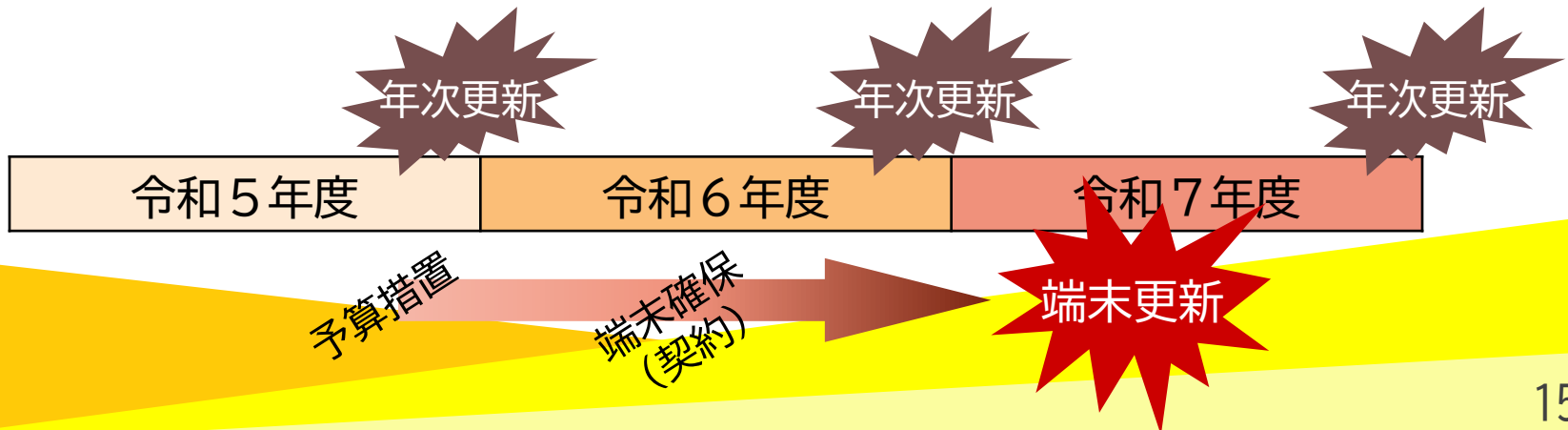
⇒ 早期の予算措置を求める

・ **進学・進級に伴う年次更新作業の負担軽減を求める**

⇒ タブレット端末の初期化や設定変更を業務委託
または校務作業補助員を配置して対応すること

・ **令和7年度のタブレット端末更新に向けた準備を求める**

⇒ 国庫補助の有無に関わらず市として準備すること



まとめ（市への提言）

<中長期的な対応を求めるもの>

- **I C T人材の拡充を求める**

⇒ I C T支援員の増員や、
教職員研修・フォロー体制の充実を図ること

- **I C T機器の充実を求める**

⇒ オンライン授業配信のための機器や、
教室で使用する機器（大型T Vモニタ、画面転送装置など）
の拡充や更新を検討すること

